

水道水でいこう。

水 Do!

What's 水Do?

水 Do! とは

ペットボトルなどの使い捨て飲料容器の使用を減らし、水道水の飲用、「水の域産域消」を推進することにより、環境負荷の低減と地域の水資源保全を促進するキャンペーンです。

Why?

なぜ今水 Do!



環境負荷を減らす

ペットボトルなどの使い捨て容器に入った水やお茶の消費量が増え続けています。これらの容器入り飲料は、容器の製造、飲料の輸送、冷蔵販売、そしてリサイクルに至るまでの過程でたくさんの資源とエネルギーを使い、CO₂を排出します。一方、水道水が蛇口に届くまでのエネルギー消費量は、ペットボトル入り飲料水の数百分の1。水道水を上手に利用すれば、そのぶん、使う資源の量も、CO₂の排出量も減らすことができます。



地域の水をまもる

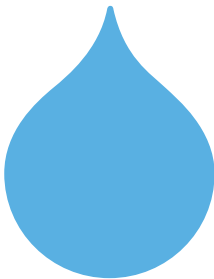
水は、地域の共有財産です。水源である森も、川も、地下水も、地域全体で守ることが必要です。「飲む」ことを通して地域の水資源に関心を持つことは、地域の水を保全する活動の第一歩です。

人にやさしく潤いのある社会をつくる

人が生きていくのに欠かせない水分補給のインフラを用意することは、公共の責任です。街にオアシスが増えれば、地域はもっといきいきするはずです。



水Do! しよう Action!



自治体の率先した行動を広げよう

自治体には安全な水道水の供給、そしてごみの処理の責任があります。会議でペットボトルのお茶ではなく、湯のみのお茶やグラスの水を出すようにしたり、施設内の自販機を減らすといった自治体の取り組みを応援しましょう。



街のオアシスを増やそう

駅や公共施設、大学の構内などに、水飲み場や給水できる設備を増やすよう働きかけましょう。カフェやレストランなどにも給水サービスをお願いしてみましょう。水飲み場や給水ポットの情報をマップにしてみんなでシェアしましょう。

ライフスタイルを変えよう

ペットボトル等に入った飲み物を買ってしまう習慣を見直しましょう。家庭で、外出先で、キャンパスで、水道水や水道水を使った飲み物をおいしく楽しむ方法を知れば、お財布にもやさしく、ゆたかな暮らしが始まります。

省庁の会議で ペットボトル飲料水禁止

2008年より、すべての省庁・国の会議でのペットボトル飲料水が禁止されています。

日本でもはじまっている 「水の域産域消」

会議でペットボトルのお茶を出すのをやめたり、魅力的な水飲み場を設置する自治体も増えてきました。リユースびん入りの地元のお茶を利用すると



生駒駅前の地元の石を使った、給水もできる水飲み場

広がる水Do!



世界では、ペットボトルなどの容器に入った飲料の利用を減らし、水道水の利用を推進する動きが広がっています。

自治体の率先行動から 広がるペットボトル削減

多くの市町村や州がペットボトル飲料水の調達を廃止。販売を禁止する大学や国立公園も増えています。



屋外の給水ポイントも増えています



カフェのおしゃれな給水

世界初のペットボトル飲料水のない町

バンドナムーンという町では住民投票により、ペットボトル飲料水の販売が禁止に。

最新情報は [こちらから](http://sui-do.jp/)

公式サイト <http://sui-do.jp/>

 @SuiDo_Campaign

 www.facebook.com/Suido.campaign

水Do! キャンペーンは、地球から取り出す資源をできる限り少なくすることをめざすFoE Japan(フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン)の脱・使い捨て社会プロジェクトの一環として2010年6月にスタートしました。2014年度より、活動をより大きく発展させるため、キャンペーンの趣旨に賛同する団体のネットワーク組織「水Do! ネットワーク」により運営しています。(2015年8月現在22団体)

水Do! ネットワーク (水Do! キャンペーン事務局)

〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3F
TEL.075-211-3521(環境市民気付) E-mail: info@sui-do.jp

☆活動資金へのご協力をいただけますと幸いです。

【振込先】 三井住友銀行 鎌倉支店
普通 0179784 スイドウネットワーク

※このリーフレットは、古紙100%再生紙、植物油インクを使用し、風力発電のグリーン電力を利用して印刷しました。
※このリーフレットは、独立行政法人環境再生保全機構平成27年度地球環境基金の助成を受けて製作しました。